



国道331号南城市久手堅地区の 無電柱化整備が完成しました！



令和7年3月に、国道331号南城市久手堅地区において無電柱化整備が完成しました。併せて歩道整備を行いましたので事業着手から完成までの取組を紹介します。

無電柱化事業

当該地区を含む国道331号は、

防災上重要な第二次緊急輸送道路であると共に、当該路線付近には南城市地域防災計画により緊急避難場所指定されている知念体育館、南城市知念社会福祉センター等があり、緊急時の地域防災上重要なエリアとなっています。台風等の災害時に電柱の倒壊を防止し、避難路及び緊急車両の通行を確保することで速やかな避難、復旧を図ることを目的として、国道331号久手堅地区電線共同溝事業が平成28年度に事業化されました。

世界文化遺産である斎場御嶽^{せーふあうたき}周辺の防災性の向上、良好な景観形成を目的として電線共同溝整備を行い、令和4年12月に電線共同溝工事を完成し、令和7年3月に電線類の地中化、架空線の撤去、電柱16本の抜柱が完了しました。

整備後(国道331号)



併せて南城市において国道331号から斎場御嶽までの市道の無電柱化も今夏完成に向け整備が進んでいるところです。

歩道整備事業

当該地区は世界文化遺産の斎場御嶽や、がんじゅつ駅（南城市地域物産館）、知念岬公園等が隣接する、南城市の主要な観光地であり、観光客を主とした歩行者が多い特徴があります。観光客が多いなか、歩道幅員が狭い区間や、歩道未整備区間があるため、歩行者の車道路肩の通行や、横断歩道以外の箇所での乱横断が発生していました。そのため歩行者の安全性確保を目的とし平成31年度に、久手堅地区歩道整備事業が事業化されました。

上下線の歩道幅員を拡張し、海側の一部区間は張出歩道を用いて幅員を確保しました。

歩道部には、歩行者保護と乱横断防止対策を兼ねて車

斎場御嶽へのアクセス道(市道)



ワイヤーロープ式の転落防止柵



両用防護柵を設置し、海側の眺望を楽しむことができる区間には透過性の高いデザインで、安全性に配慮したワイヤーロープ式の転落防止柵を設置しました。

南城市との連携

世界文化遺産周辺の景観への配慮を目的として南城市と連携し、電力地上機器へ観光案内図等のラッピングを行いました。今回の整備により、防災性の向上、交通安全の確保、良好な景観が形成され、観光拠点として更なる地域の活性化が期待されます。

電力地上機器へラッピング



問合せ先

南部国道事務所 管理第二課
098-861-9384